

## 秋田県生涯学習・社会教育研究大会(兼)行動人交流集会 実施レポート

日時：平成29年12月7日(木) 10時～15時30分

会場：秋田県生涯学習センター 3階講堂 参加者：県内24市町村及び県外から219名

今年度最後の研修事業となる「生涯学習・社会教育研究大会」を、「行動人(こうどうびと)交流集会」との合同で開催しました。「人づくり・地域づくりを推進する生涯学習・社会教育の体制充実を目指して」のテーマで、県内外から参加した200名以上の方が熱心に学び、交流しました。

### 【午前の部】

はじめに、全国社会教育委員連合の**坂本登副会長**から「人づくり・地域づくりと社会教育～その推進体制の充実に向けて～」と題して、基調講演をしていただきました。

ご自身と秋田県のつながりから話を始められ、他県の例や東日本大震災の教訓も交えながら、社会教育の有用性について話題を展開されました。



<坂本登副会長>



<200名を超える参加者>

「地域」や「地域づくり」について

説明される中で、地域づくりはそこに住んでいる人たちの「つながり」が広がっていくことであり、血縁・地縁・知縁という3つの「ちえん」を生かした「社会教育スタート」が大切であることや、そこからネットワークが出来ていく仕組みについて、詳しくお話しいただきました。

最後に、社会教育の活性化のためには、しっかりとした計画の策定が大切であり、そのために社会教育委員をはじめとする関係者の役割が大きいことを強調されました。

基調講演のあとは、昼食をはさんで「交流タイム」を設けました。県内各地で活躍している「行動人」の皆さんによる活動展示は、今年も大盛況となり、展示を楽しみながらの積極的な交流が行われました。



<「行動人」の活動展示>

### 【午後の部】

午後の部は、はじめに県生涯学習センターの**糸田和樹社会教育主事**が「企業との連携事例～『あきぎん長生き学校』とのコラボレーション～」と題して研究報告を行い、秋田銀行と県生涯学習課・生涯学習センターが連携して行っている講座について報告しました。

続いて行われた事例研究では、坂本副会長がコーディネーターとなり、大館市で活動する子育て支援サークル「アミュージングサポート『あ☆そ☆ぶ』」の**河田美智子事務局長**、潟上市天王公民館の**鈴木健二館長**、県立横手高校定時制の**細井才智教諭**から事例発表をしていただきました。

河田事務局長からは、元行政職員としての人脈やノウハウを生かして、組織づくりや地域での活動を行ってきた経緯について紹介がありました。鈴木館長からは「寺子屋てんのう」事業について、大学生ボランティアと一緒に事業を進めてきた経緯や公民館の役割、学生たちからの熱いビデオメッセージの紹介がありました。細井教諭からは学校と地域が一緒に行う避難所開設・運営訓練について、具体的な活動の様子や訓練を通じた生徒たちの成長、地域との連携の深まりについて紹介していただきました。



<事例研究での発表>

会場からも多くの質問や意見をいただき、最後に坂本副会長から、①3事例とも子どもや若者に焦点を当てており、将来に向けて変わっていくべき点を示していること、②子どもや若者の育成を通じて、個人と社会の関わりについて考えていく必要があること、③学校と地域の連携という点で、地域がどう学校を応援、支援していけるかが大切であること、という3つの視点で会をまとめていただきました。

外は寒い日でしたが、会場内は参加者の熱意があふれ、充実した内容の一日となりました。

### 【参加者の声】(抜粋)

- ・今回ほど人づくりや地域づくりについて、整理して教えていただけたことはありません。
- ・地域づくりにおける社会教育の重要性を、改めて感じました。
- ・社会教育行政に関わる者として、様々な具体例を示していただき、大いに参考になりました。
- ・毎年この会で行動人の皆さんと触れ合うことが、何よりの楽しみになっています。